

ペットボトル水平リサイクル事業
公募型プロポーザル企画提案書作成要領

令和6年10月

山形広域環境事務組合

企画提案書の作成に当たっては、実施要領及び仕様書をよく理解したうえで、次の条件及び要領で作成すること。

1 企画提案書の作成方法について

企画提案者は、以下の条件に基づき企画提案書を作成すること。

(1) 売却単価に関する項目

① 上期、下期（半期ごと）売却単価の積算方法

- ・単価の積算は、容り協で公表しているペットボトル全国平均落札単価を基準として算出すること。
- ・単価の積算方法について明記すること。

② 令和6年度下期（10月～3月）の想定単価を算出すること。

下記の内容で算出すること

- ・①の積算方法によること。
- ・1t当たりの単価とし、消費税相当額は含まないこと。
- ・本組合の令和6年度下期の容り協落札単価を上回ることを条件とし、下回る場合は失格とする。

【参考】容り協ペットボトル落札単価

(税抜き 円/t)

| | 年度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------------|----|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 山形広域 環境事務組合 | 上期 | 42,837 | 50,020 | 10,340 | 68,955 | 58,600 | 81,800 |
| | 下期 | 51,870 | 5,520 | 59,520 | 124,520 | 42,448 | |
| 全国平均 | 上期 | 33,601 | 43,418 | 7,923 | 64,196 | 60,376 | 49,526 |
| | 下期 | 40,480 | 1,760 | 42,949 | 115,369 | 42,648 | 84,548 |

※ R6 下期の落札単価は、9月上旬公表

(2) 環境負荷低減に関する項目

① ペットボトル水平リサイクルを実施した場合のCO2削減量の見込み量

バージンペットボトルと再生ペットボトルの作成工程におけるCO2削減見込み割合（パーセンテージ）を具体的な数値で記載すること。

② 本事業の他に事業者が実施又は実施予定の環境負荷低減対策

本事業の他に持続可能な社会を構築するため、事業者が実施又は実施を予定している、環境負荷の低減への取り組みについて

(3) 事業実績・体制に関する項目

① 地方公共団体との協定に基づく水平リサイクル実績年数（平成28年度以降の実績とする）

「PETボトルリサイクル推進協議会」のペットボトル水平リサイクル評価基準が策定された次年度以降の実績とする。

- ② 水平リサイクル連携協定を締結している自治体数（一部事務組合を含む）
- ③ 事業実施の体制が整っているか
リサイクル事業者（処理施設）の所在地、処理能力、災害対策等の実施状況等を記載すること。
- ④ その他（上記内容以外のもの）

(4) 啓発に関する項目

- ① 本組合のイメージアップや事業促進につながる提案
本事業実施による構成市町住民へのイメージアップやごみ分別等への理解を促進する等の提案
- ② 事業者として環境負荷低減に向けた取組みの広報等
テレビCM、Web、紙面等を用いた取組みの広報状況
構成市町の小学生を対象とした環境学習等の実施
- ③ その他（上記内容以外のもの）

(5) 品質基準の緩和に関する項目

- ① 容器包装リサイクル協会の品質基準をどれだけ緩和できるか
ペットボトルリサイクル処理施設の設備能力向上による品質基準の緩和措置について
 - キャップの付着
 - ラベルの付着
 - 塗料の付着（マジック、スプレー等）
 - カラーボトル
 - カットされたボトル
 - 内容物で変色したボトル
 - 内容物が残っているボトル
 - 取手付きボトル（焼酎等）
 - 輸入ボトル（国内PET表記以外のもの）
 - 異物混入（プラスチック、金属類）

2 提出書類について

(1) 提出書類

- ① 企画提案書 様式6
- ② その他資料（任意様式）必要な場合

(2) 提出部数

企画提案書 様式6 印刷したもの10部（正本1部、副本9部（正本の写し））
その他添付書類 印刷したもの10部（正本1部、副本9部（正本の写し））

3 共通事項・注意点について

- ① A4版、両面（表紙、目次を除く）とする。
- ② 企画提案書（様式6）の正本は、提案者の項に、住所、事業者名（事業者名）及び代表者名を記載し押印すること。

副本については、事業者名（事業者名）が分かる記載はしないこと。

- ③ 使用言語は日本語、通貨は円、単位は測量法に定めるものとし、全て横書きとする。
なお、原則としてフォントはMS明朝体10.5ポイントとする。
- ④ 必要に応じてインデックス等を付し、簡便に判別できるようにすること。
- ⑤ 審査委員が正確に評価できるよう、編集に配慮すること。
- ⑥ 専門知識を有しない者でも理解できるよう分かりやすい表現とすること。
- ⑦ 企画提案書類を受付後、追加及び修正は認めないものとする。

4 参加の辞退

参加を辞退する場合は参加辞退届（様式7号）により、その理由を記載し、速やかに提出すること。